

平成28年度 南区特色ある区づくり予算提案一覧（区役所企画事業）（案）

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

部	区分	事業名	委員提案	担当	事業概要	部会意見
1	新規	地域元気の種事業		地域課	<p>【期間】H28年度～30年度 【事業目的】 コミ協の自主性と活動意欲をさらに高めるため、テーマに基づく事業提案をしてもらい、対象事業を選定し、支援する。 【H28年度】 ・コミ協への活動補助（事業計画作成）として10万円を支給。 ・テーマ設定および事業計画作成のための会議費、視察費等を想定。 ・コミ協は9月末をめどにテーマ設定と事業検討を実施し、11月に報告会（事業計画の発表）を行う。 ・対象事業は、1か年または2か年の単年事業とし、予算額の120万円を2～3コミ協に配分 ・発表会の場で投票等による選定を行い、投票等により決定した2～3コミ協に対し、次年度以降、事業活動費を支援する</p>	<p>・12次産業で案を出して考えていくというのはかなり負担になると思う。 ・区のモデル事業として2～3団体を指定して、予算もそこで割った方がいいのではと思う。最初から全部に振らなくても、とりあえずみなさんに考えてもらうというのは必要かもしれないが、既存を削って新しくするのがどうかと思う。 ・コミ協へ前もって説明し理解してもらった方がいいと思う。</p>
2	新規	地域包括ケアシステム推進事業	○	健康福祉課	<p>◆高齢者を支える地域づくり 【期間】H26年度～H28年度（3か年） 【事業目的】 地域包括ケアシステム構築に向けた意識醸成と介護予防やリハビリ等を通じた身体管理の重要性を知ってもらうとともに、地域の高齢者を地域で見守り支援していくことで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指す。 【H28年度】 地域にネットワークがあり、福祉の現場で仕組みづくりの実績がある社会福祉士に業務委託し、地域住民に対し互助の重要性の意識醸成を図るとともに、高齢者を地域で支える仕組みづくりを構築するための指導を行う。 ◆地域ふれあい健康づくり講座 【期間】H24年度～ 【事業目的】 各地区で様々な年代を対象とした講座等を開始し、自主的に健康づくり活動に取り組む人を増やし、健康寿命の延伸を目指す。 【H28年度】 地域の実情に合わせて、運動習慣の定着や食育など、生活習慣病の予防や介護予防につながる取り組みを、地区単位で関係組織と連携しながら実施する。 ◆在宅医療の推進支援 【期間】H27年度～H29年度（3か年） 【事業目的】 超高齢化が進み、医療機関や介護保険施設等の受け入れが、今後難しくなっていくため、在宅医療を推進し、在宅での療養や看取りを普及する。まずは、在宅医療を希望する人が、家での療養生活を送ることができるよう、環境づくりを進める。 【H28年度】 在宅医療について、その概要や利用方法、関係医療機関や介護との連携支援などをパンフレットにして情報提供する。 ◆南区ふれあい福祉マップ作成事業 【期間】H28年度～H29年度 【事業目的】 障がい者や高齢者が自発的、意欲的に外出できるような情報を掲載したマップを作成し、安心安全な区づくりを目指す。 【H28年度】 作成委員会組織、開催 ・マップの仕様（掲載内容、装丁）検討 ・マップ設置場所、作成部数検討 ・作成手法の検討</p>	<p>・特になし</p>
3	新規	園児アグリパーク体験事業	○	健康福祉課	<p>【期間】H28年度～H30年度 【事業目的】 南区内の公私立保育園及び幼稚園に在園している園児全員が、在園中にアグリパークでの体験ができるよう、また、家族でアグリパークへ出かけるきっかけとなるよう、バス料金を助成する。 【H28年度】 南区内の公立保育園12園、私立保育園4園、私立幼稚園1園の園児全員が在園中にアグリパークでの体験ができるよう、バス料金を全額補助する。</p>	<p>・バスを自分たちで持っている保育園もあるので、バス料金だけとせずに、アグリパークでの体験料なども対象としたらどうか。 ・園児に向けて広げるのは良いと思うが、全体的にアグリパークの魅力向上が必要なお気がする。</p>
4	継続 2年目	障がい者農業体験		健康福祉課	<p>【期間】H27年度～H29年度（3か年） 【事業目的】 障がい者に農業体験してもらい、収穫の喜びを感じ、食についての理解と農業に関心を持ってもらうことで、農業分野への就労支援につなげる。 【H28年度】 ・障がい者に農業の基幹作業を体験してもらい、農業に対する理解と就労意欲の醸成を図る。 ・農作業リポーターより、播種、除草、管理、収穫作業について指導を受ける。 ・保育園児と障がい者施設利用者が共同作業や収穫祭などを通じて交流を深める。</p>	<p>・体験するだけではなく、次の就労につながるような形がいいのでは。 ・フレッシュで体験をできたら、実際に働くという体験をしたらいいのではないか。 ・障害者に農業体験をしてもらいたいという部分は区役所で企画して、すでに施設で作業している方に農業の作業をしてもらって、施設以外の違うところにターゲットを当てないといけないのではないかと。 ・引きこもりの方の農業体験という話もあったが、誰にやってもらうかで難しくなるのは同じだったと思う。 ・受け入れる側が受け入れシステムができてないと受けられない。それが結構大変ではないか。受け入れる側の企業がある程度システムを作るのを後押しする仕組みが必要。今回は農業だが受け入れ側への支援も必要。 ・知的障がいや自閉症のある子どもは、就職などに悩んで頼も大変だと聞いている。特別支援学校などもあるわけだから、そこへ通学している人たちがもっと活躍できる場があればと思う。 ・障がい者支援なのか、農業の担い手支援なのかははっきりした方がいい。</p>
5	継続 5年目	「地域で子育て」を応援		健康福祉課	<p>【期間】H24年度～ 【事業目的】 子育て中の保護者が気軽に参加できる地域での支援が望まれており、各地域に育成した子育て支援リーダー（子育てオーエンジャー☆みなみ）を中心に、子育て中の保護者が気軽に参加できる「子育て広場」の開設や地域情報のお届け訪問などにより、地域が自主的に子育て支援に取り組めるよう応援する。 【H28年度】 ・アウトリーチ型子育て支援研修会で得た知識をもとに、次年度の本格実施に向けて「地域情報のお届け訪問」をモデル的に実施。 ・既存事業である子育て広場・子育て中の親子の交流会・NPプログラムの継続開催。 ・子育て広場運営スキル及び子育て支援リーダー養成スキル講座の実施。</p>	<p>・特になし</p>

平成28年度 南区特色ある区づくり予算提案一覧（区役所企画事業）（案）

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

番号	区分	事業名	委員提案	担当	事業概要	部会意見
6	継続5年目	災害に強いまちづくり	○	総務課	【期間】H24年度～ 【事業目的】 災害時に自助・共助による安心安全なまちづくりを進めるため、自主防災組織の機能強化を図るとともに、地域防災の担い手育成の一環として、中学校防災教室、高校生防災ボランティア育成研修会を行い、防災意識のさらなる向上を目指す。 【H28年度】 ・自主防災組織の強化として、要援護者の支援体制の確立、自治会単位での自主防災訓練に対する支援を行う。 ・中学生・高校生の防災意識の向上を目的とし、中学生を対象とした防災教室の開催、高校生を対象とした防災ボランティア育成研修会を実施し防災意識の向上を図る。	・南区全体の防災訓練を行う際には、日程を早めに地域に出してほしい。
7	継続5年目	未来創造教室	○	南区教育支援センター	【期間】H24年度～H29年度 【事業目的】 中学生の郷土愛にあふれる豊かな心を育成し、将来の自分を描ききかけづくりを提供する。 【H28年度】 南区の中学生の授業や行事、教育活動の一環として、防災・減災に関わる活動、各界で活躍した方の講演会、専門家による「人づくり・まちづくり」ワークショップ、学年毎に異なる講師迎える講習など、各学校の実情に合った、形式を問わない柔軟な講座を実施する。	・特になし

III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

番号	区分	事業名	委員提案	担当	事業概要	部会意見
1	新規	(仮称) まちなか賑わいチャレンジ事業		産業振興課	【期間】H28年度～H30年度（3か年） 【事業目的】 南区拠点商業地活性化推進事業計画を推進するとともに、計画の拠点として位置づける白根商店街の空き店舗の利活用を促進し、まちなかの活性化を図る。市民団体・NPO団体・民間事業者の自由な発想で、指定する空き店舗を活用してもらい、商店街に新たな活力と賑わいの創出に繋げる。 【H28年度】 指定する空き店舗を活用し、地域の再生や市民の交流の場として活用いただける市民団体・NPO団体・民間事業者（個人事業主含む）から企画提案を募集し、提案者が主体となって取り組む事業を支援	・がんぎやも補助金が終わって、売り上げは、家賃や仕入れの充てるので利益はとて難しい。正規の家賃ではなかなかかきつ。補助金が終わっても軌道に乗せれる商売じゃない。 ・飲食店は駐車場がないと難しい。来店型のお店ではない業種の方がよいのではないかと。
2	継続2年目	農商工連携がっちりプロジェクト		産業振興課	【期間】H27年度～H29年度（3か年） 【事業目的】 南区は、県下に誇る農業地帯で、米をはじめ果物、野菜など多くの農産物が生産されている。これらの農産物を活かし、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大を行うため、行政、農業団体、商工団体等が連携を図り、一体となって、農・商・工連携や6次産業化の調査、研究を行い、所得の向上や雇用の拡大など地域経済を発展させていくことを目的とする。 【H28年度】 地域農産物を活かし、所得の向上や雇用の拡大など地域経済を発展させることを目指し、南区らしさを広くPRできる新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大を行うため、行政、農業団体、商工団体が連携を図り、6次産業化の調査・研究を行う。 ①農商工連携推進体制の整備 ②地産地消推進のための研修会の実施 ③地域農産物を活用した加工食品の検討、一次加工試作品の実施	・一部農家さんはブランド化できる部分もあるが、できない方も大勢いるので、この事業があるということだろうが、加工自体は依頼できるかもしれないが、飲食店などで取り入れられる印象はないので、他にも販路があればと思う。

IV 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち

番号	区分	事業名	委員提案	担当	事業概要	部会意見
1	継続2年目	来てきて笹川邸		地域課	【期間】H27年度～H29年度（3か年） 【事業目的】 国指定文化財である旧笹川家住宅について、平成27年度より約2か年に渡り、国の補助も貰い保存活用計画を策定している。この間、笹川邸の活性化とサービスが停滞しないよう、イベント等を開催し、少しでも来館者数の増加を図るもの。 【H28年度】 ・イベントについては、四季に合わせて通年で実施するとともに、実施にあたっては、観光関係部署との連携はもちろんのこと、地元の方々とも情報共有を図り、今年度に提出される提言書も踏まえ、「食」を活用した活性化の検討等を行いながら一緒に実施していく。	・イベントをすることで地域課としてはどのような方向へもってきたいのか。最終的に文化財として目指すような形というか。 ・味方の人からは物販とか飲食とかそういう気軽に楽しめるような場所にしたいという声はよく聞く。ゆっくり休める場所もないし、地元の人はずいぶん風につかっていきたいという人が多いのではないかと。 ・ひとまず今年度はいろんなことやっているんだなという認識はある。リピーターを作らないといけないというのは感じている。足りないのは食だという気はしている。休日の午後にあそびに喫茶店感覚でいけたらと思う。 ・策定委員がいると聞いているのでそこに地元の声も聞いてもらって、地元の人と一緒にやっていく形をお願いしたい。 ・南区内の名所を回るツアーなどを組めればいいのでは。 ・有志で南区観光ミーティングをやっている、どうやって南区が連携して観光を押し付けていくか、今話し合っているところで、観光ルートなどを作っていくかと思ってる。 ・地元の方は500円かかるかと絶対行かないと思う。そこにせめてコーヒー一杯出で、休憩ところがあればいいのだが、地元の人が2回3回行きたくなるようなものを考えてほしい。
2	継続2年目	大風合戦みらいプロジェクト	○	産業振興課	【期間】H27年度～H29年度（3か年） 【事業目的】 ・風合戦における会場案内やまちあるきのボランティアガイドを養成し、風合戦観戦者の満足度と安全の向上を図るとともに、年間を通したまちあるき観光ガイドの可能性も探りながら、まちなか活性化計画の一つを実践する道筋をつける。 ・風合戦の原料を地元で調達する方法を探り、地元産の麻による風合戦の製作に取り組み大風合戦の伝統の継承に資する。 ・風合戦をきっかけにした出会いの場を提供しながら、風合戦者の確保と定住人口の増加を図り、風合戦の更なる活性化を図る 【H28年度】 ・平成27年度に養成した「ボランティアガイド」により風合戦会場の案内を試行し、課題を探るとともに、新たなボランティアガイドを養成する。 ・風合戦の原料である「麻」を地元で調達することを目指して、引き続き麻の試験栽培を行いながら、風合戦などによる「学び」の技術の取得を目指す。 ・風合戦の原料から「風合戦に参加したい」希望者を市報などで募り、希望する大風組に割り振り出会いの場を創出し、風合戦者としての継続した活動を促す。	・ガイドだとオリンピックで外国人の方が来ると思うので外国語の対応などどうか。 ・ガイドをやっている人が付加価値があった方がよいのでは。資格じゃないにしても佐渡だったら佐渡検定とかあるのに外から認められるものがあるといいのでは。